



アートだけじゃない! 新潟市 水と土の芸術祭をデザインの視点で鑑賞 新潟市 水と土の芸術祭に関わるクリエイター



水と土の芸術祭 アートとデザインの融合

水と土の芸術祭実行委員会は、「転換点～地域と生命の再生に向けて～」をテーマとして「水と土の芸術祭2012」を開催いたします。水と土の芸術祭は、水や土にささえられてできた新潟の文化を、アートの力で国内外に発信することを目的として、2009年に続き2回目の開催となります。(会期は2012年7月14日(土)～12月24日(月))会期中は、開催プロジェクトを「アートプロジェクト」、「市民プロジェクト」、「シンポジウム」の3つのポイントにわけ、芸術祭だけではなく、新潟市民が主体となった地域の魅力を発信するイベントなどを開催。各所でプロジェクトやアート作品の展示が展開されます。

この芸術祭を開催するにあたり、デザインから芸術祭を応援するたくさんのクリエイターがいます。今回、グラフィックから会場構成まで、それぞれのフィールドの第一線で活躍するクリエイターにスポットを当て、芸術祭の作品のみならず、デザインの視点からも芸術祭を楽しめるポイントをご紹介します。

新潟市 水と土の芸術祭に関わるクリエイターたち

水と土の芸術祭ロゴデザイン / 森本千絵



アートディレクター・コミュニケーションディレクター。博報堂を経て2007年「goen°」設立。現在goen°主宰として「出逢いを発明する。夢をカタチにし、人をつなげていく。」を掲げ、広告・ミュージシャンのアートワーク、映画や舞台美術、保育園や動物園のトータルディレクションなど多岐に渡って活躍するほか、物語性を重視したプロダクトや空間デザイン「mono°goen°」、子どもたちとの想像力を育む場をデザインする「coen°」などを展開。「Pen」まるごと1冊森本千絵特集号が11月に発売され、日経WOMAN「ウーマン・オブ・ザ・イヤー」準大賞、東京ADC賞グランプリを受賞するなど、幅広い分野から注目を集めている。ADC最年少会員。



▼ 本リリースに関するお問合せ

取材依頼、画像貸し出し、何かご不明な点等ございましたらお気軽にお問合せくださいませ。

PR 担当 株式会社 Casokdo 五十嵐 洋 E-mail : igarashi@a-ms2.com

住所 : 〒141-0033 東京都品川区西品川1丁目6番4号

TEL : 03-5436-7636 携帯 : 090-1761-1417 FAX : 03-5436-7637



◎ 新潟のクリエイティブチーム

新潟を拠点に様々なフィールドで活動するクリエイターが、芸術祭を通し、モノやコトをクリエイティブし発信していきます。

グラフィック・サインデザイン /

石川竜太



アートディレクター・デザイナー。1976年新潟県三条市生まれ。2006年Frame:株式会社フレーム設立。既成概念にとらわれることなく、常に新しい仕組みや仕掛けを考え、新しい価値観を生み出すコミュニケーション創り出すべく広告制作、C.I・V.I計画、WEBサイト、TVC、SPなど、デザイン全般にあたる。主な仕事は麒麟山酒造パッケージデザイン及び広告製作、ギフトラインプロジェクト"cotomoto"アートディレクションなど。2010年新潟市土産品コンクール金賞受賞、2011年新潟ADCグランプリ受賞。

Shop運営 コミュニケーション活動 /

迫一成



クリエイターユニット・アーティスト・地域デザイナー。1978年福岡県生まれ。新潟大学文学部卒業。2001年クリエイティブ集団ヒコリーストリートレーサーズを結成。新潟市上町商店街理事。『日常を楽しむ』のコンセプトで、5人のメンバーで新潟市上町商店街の店舗でオリジナルの衣類・雑貨・土産品等を製作・販売。各種デザイン、企画なども行う。2004年に上町商店街をつくり、デザイン+アートの要素を活用し地域の情報発信を指導。『そこから出来ること』を『楽しみながら感謝』する姿勢で、幅広くそして柔らかに活動中。仕事対象は個人・地域(上町商店街)・店舗・企業・自治体など幅広い。

Web ディレクション /

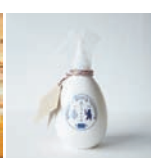
高橋徹



WEB/グラフィックデザイナー・アーティスト。1977年新潟県燕市生まれ。2001年からフリークリエイターとして活動。空間制作・広告制作・グラフィックデザイン全般の業務に携わる。2004年ツムジグラフィカ設立。グラフィックデザインを基盤に、映像表現、空間表現などコミュニケーションに関わる視覚的な表現に取り組んでいる。また作家としての作品制作・発表も同時に行っている。主な仕事はWEBサイト制作、各種広告・イラスト制作、ブランディング、空間/店舗内外装の意匠管理。舞台美術(劇団ピンククロ)。



(左から) 麒麟山酒造 / パッケージデザイン、「ギフトラインcotomoto」



(左から) 日常を楽しむ店(Hickory03travelers)、「リネンウォーター熊と森の水」



(左から) WEBサイト構築、空間デザイン

◎ 会場構成 / 曾我部昌史 + 神奈川大学曾我部研究室



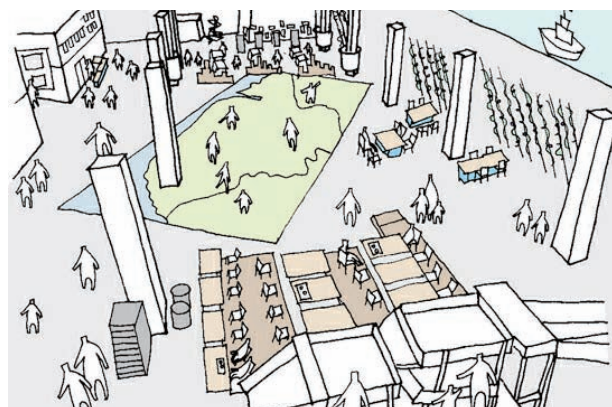
▲ メイン会場：万代島旧水揚場

A 会場：メイン会場 (万代島旧水揚場) 【MAP A】

場所：中央区万代島4-1

観賞時間：7-8月 10:00～20:00 9-10月 10:00～18:00 (金・土曜日～20:00)

11-12月 10:00～18:00 休日：水曜日



長く新潟の漁業を支えてきた万代島旧水揚場には、いろいろなものが残されていた。漁網やロープなどの漁具や、水槽やコンベアなど加工用設備など。セリの様子を記録した音声テープもあった。ここでは、これらの残置物を再配置することで、展示会場として必要な「設え」を用意する。受付カウンターは切断した水槽であり、入口では回転するコンベアが来場者を迎える。網、黒板、トロ箱、時計。あるものは何でも使う。漁業の記憶をいつも背景に感じながら作品をめぐる。そういう場を生み出したい。

▼ 本リリースに関するお問合せ

取材依頼、画像貸し出し、何かご不明な点等ございましたらお気軽にお問合せくださいませ。

PR 担当 株式会社 Casokdo 五十嵐 洋 E-mail: igarashi@a-ms2.com

住所：〒141-0033 東京都品川区西品川1丁目6番4号

TEL: 03-5436-7636 携帯: 090-1761-1417 FAX: 03-5436-7637



アートプロジェクト 参加作家紹介



開催会場 新潟市について

新潟市は、食と花のまち、開港5港のひとつであるみなとまち。広域合併を経て政令指定都市となった新潟市には、さまざまな地域の個性が集まっています。ここから生まれた文化をいかし、アートの力で新潟の素晴らしい水と土の文化を国内外に発信します。会場は、新潟市内にある万代島旧水揚場をメイン会場にすえ、旧齋藤家別邸や、信濃川やすらぎ堤など、新潟の歴史と文化に触れられる場所を中心として開催いたします。

主なみどころ



大友良英×鮎屋法水たち

音楽家の大友良英と主に演劇の分野で活動してきた鮎屋法水が、水辺を臨む旧水揚場の巨大空間で音と造形による大規模インスタレーションを展開します。漁業の営みの跡や生き物のにおいが残り、外の天候や風景が借景となる半屋外空間で、その場と周囲の環境をたふんに取り込んだ気配と痕跡に満ちた世界が出現します。日差しや季節の移り変わりによって様相を変える作品を、その場に身を委ねるようにじっくりと繰り返しお楽しみください



作品タイトル:「Smile」

会場:メイン会場 万代島旧水揚場(大かまぼこ)【MAP A】

場所:中央区万代島4-1

展示期間:2012年7月14日(土)～12月24日(月・休日)

観覧時間:7-8月 10:00～20:00 / 9-10月 10:00～18:00(金・土曜日～20:00) / 11-12月 10:00～18:00 / 休日:水曜日

富井大裕

画紙や色鉛筆、スポンジなど身のまわりの物を並べたり、重ねたり、組み合わせたり……。ある素朴な所作を加えることで日用品をアートへと組み替え、作品化してきた富井大裕が本芸術祭では自身が生まれ育った新潟でおなじみの消波ブロックを素材に、大型の立体作品をつくりまします。



作品タイトル:「王様と私達」

会場:メイン会場 万代島旧水揚場(エントランス)【MAP A】

場所:中央区万代島4-1

展示期間:2012年7月14日(土)～12月24日(月・休日)

観覧時間:7-8月 10:00～20:00 / 9-10月 10:00～18:00(金・土曜日～20:00) / 11-12月 10:00～18:00 / 休日:水曜日

▼本リリースに関するお問合せ

取材依頼、画像貸し出し、何かご不明な点等ございましたらお気軽にお問合せくださいませ。

PR 担当 株式会社 Casokdo 五十嵐 洋 E-mail: igarashi@a-ms2.com

住所:〒141-0033 東京都品川区西品川1丁目6番4号

TEL: 03-5436-7636 携帯: 090-1761-1417 FAX: 03-5436-7637



アートプロジェクト 参加作家紹介



主なみどころ作品 ※ 下記作品以外も公式HPにて随時更新していきます。

Nadegata Instant Party (中崎透+山城大督+野田智子)

その地の人々と関わり合いながらひとつの出来事をつくりだしていくアーティスト・ユニットNadegata Instant Partyが、旧保育園の庭にある陶芸窯をめぐって架空の物語をつくります。工房と化した保育園で映像や音を通してストーリーを追体験していくアトラクション型作品です。会期中、薪割りや窯焚きが参加型イベントとして行われ、「今ここ」のリアルと、作品のなかのフィクションが交じりあっていく不思議な世界が展開されます。イベント/ワークショップ日程 ※変更の可能性あり。詳細は公式サイトにて。

窯焚きイベント1回目 7月1日～3日 / 2回目 9月7日～9日 / イベント 12月23日(予定)



B 作品タイトル:「ONE CUP STORY」
会場:旧礎保育園【MAP B】

場所:中央区礎町通6/町2246-2

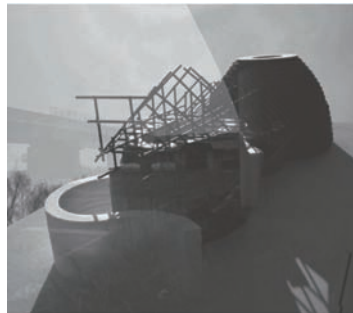
展示期間:7月14日(土)～12月24日(月)

観覧時間:7-8月 10:00～20:00 / 9-10月 10:00～18:00(金・土曜日～20:00) / 11-12月 10:00～18:00

休日:水曜日(11月と12月のみ火・水曜日)

渡辺菊真+高知工科大学渡辺研究室

まちに新しい建物がたつ時、以前そこに何があったのか思い出せない。現代都市の飽くなく更新は大切な記憶を奪っていく。「水と土との格闘」。新潟のこんな根源的な記憶でずらり薄れつつある。産泥神社は新潟の根源を憶う空間である。都市更新の過程でぽっかり空いた柳都大橋の隙間。この都市亀裂に神社は鎮座する。2012個もの土壌で包まれた母の胎内のような空間。その中核にドロドロがある。すべての始まりを孕む場所。



C 作品タイトル:「産泥(うぶどろ)神社 A Shrine in Chaos」
会場:柳都大橋西詰の空地【MAP C】

場所:中央区下大川前通5/町

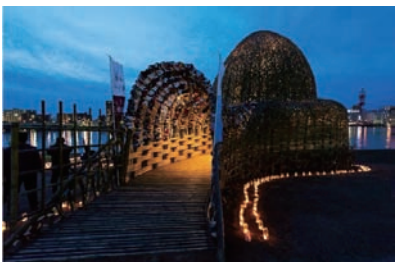
展示期間:7月14日(土)～12月24日(月)

観覧時間:7-8月 10:00～20:00 / 9-10月 10:00～18:00(金・土曜日～20:00) / 11-12月 10:00～18:00

休日:水曜日(11月と12月のみ火・水曜日)

王文志(ワン・ウェンヂー)

前回の水と土の芸術祭で「バンブーハウス」を作った台湾出身の作家・王文志さんが、信濃川やすらぎ堤で制作していた作品「浴火鳳凰(よっかほうおう)」が、4月8日、完成しました。高さ・約10メートル、直径・約13メートルのドーム型の作品は、約2,000本の竹が組み合わされ、入口には市民の皆さんから寄せていただいたカラフルな古着が編みこまれています。竹の一部は市内産を使用しています。作品側面と天井には窓が設置され、信濃川や万代橋をのぞむことができます。制作は、東日本大震災から1年後の3月11日から開始し、のべ300人のボランティアが手伝ってくださいました。作品タイトルの「鳳凰」は炎から再生する不死鳥を意味し、竹の組み合わせは、人と人とのつながりを表しています。王さんは「多くの市民から足を運んでいただき、作品を好きになったほしい」と語っています。



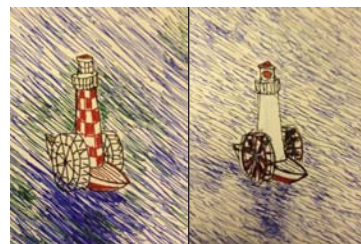
D 作品タイトル:「浴火鳳凰(よっかほうおう)」
会場:やすらぎ堤右岸(NST前)【MAP D】

場所:中央区八千代2-3付近

観覧時間:10:00～18:00

日比野克彦

信濃川水上に、「水」と「土」をモチーフにした浮き灯台の大型造形作品が出現します。さらに舞鶴からは日本海を渡って小型船「種は船」が入港、信濃川を遡上し上流の新潟県十日町市筋平を目指します。筋平は、朝顔の育成を通して人と人、地域と地域をつなぐ日比野克彦「明後日朝顔プロジェクト」の生地。同プロジェクトは新潟市でも2009年の芸術祭以来、有志によって続けられ、今年メイン会場ほか市内複数箇所で開催します。協力:株式会社ムラヤマ、一般社団法人torindo



動きたい水灯台 動かない土灯台



Photo by 後藤亮

E 作品タイトル:「動きたい水灯台 動かない土灯台」「種は船～航海プロジェクト from 舞鶴」「明後日朝顔NIIGATA2012」

F 会場:信濃川下流の水上【MAP E】
旧水上バス発着場、旧水揚場(旧水産会館)【MAP F】

場所:「動きたい水灯台 動かない土灯台」…信濃川下流の水上(萬代橋と柳都大橋の間) / 「種は船～航海プロジェクト from 舞鶴」…旧水上バス発着所 / 「明後日朝顔NIIGATA2012」…万代島旧水揚場ほか市内各所

展示期間:【動きたい水灯台 動かない土灯台】2012年7月14日(土)～12月24日(月・休) 休日:なし

【種は船】2012年8月6日(月)～12月24日(月・休) 休日:なし ※ただし、運行中は舞鶴港に不在

【明後日朝顔NIIGATA】2012年7月14日(土)～11月4日(日) 休日:各会場の休場日に準ずる

▼本リリースに関するお問合せ

取材依頼、画像貸し出し、何かで不明な点等ございましたらお気軽にお問合せくださいませ。

PR 担当 株式会社 Casokdo 五十嵐 洋 E-mail: igarashi@a-ms2.com

住所:〒141-0033 東京都品川区西品川1丁目6番4号

TEL: 03-5436-7636 携帯: 090-1761-1417 FAX: 03-5436-7637



アートプロジェクト 参加作家紹介



主なみどころ作品 ※ 下記作品以外も公式HPにて随時更新していきます。



石川直樹

東北と九州・沖縄の島々に残されている「異人」の儀礼を列島各地で撮影・展示していくプロジェクト。新潟県村上市大栗田集落に伝わる「あまめはぎ」(重要無形民俗文化財)を加えた写真群を、重要文化財・旧笹川家住宅の大広間におよそ100点展示します。会期中の8/25(土)には、石川直樹がプロデュースする一日だけの『異人の寺子屋』を開講。アーティスト・トークや、ユニークな劇空間が注目を集める五反田団(主宰 前田司郎)による「怪談」、味方地域の神楽などを鑑賞します。列島各地に来訪するナマハゲやボゼなどの「異人」の威容と3.11以後の世界が共振する……写真家・石川直樹のあらたな眼差しが現れます。



F 作品タイトル:「異人 the stranger」
会場:旧笹川家住宅(国の重要文化財)【MAP F】

場所:新潟市南区味方216番地

観覧時間:9:00~17:00 / 休日:月曜日(休日の場合は翌日)、休日の翌日(土曜日が休日の場合、火曜入場料(個人):一般500円、小中学生300円 / 入場料(20名以上の団体):一般400円、小中学生200円 ※水と土の芸術祭2012/「スポーツ(旧笹川家住宅未入場のもの)」で入場可※土日祝日は小中学生無料(入場料金は、旧笹川家住宅入場料金と同じ) 【会場についてのお問い合わせ】 tel.025-372-3006(旧笹川家住宅)



浅葉克己

角田浜でサークル状に並べられた真黒の御影石。石面には、異界の神々や王の名が古代エジプトの象形文字・ヒエログリフで刻まれています。茫漠と広がる海を眺め、異界の王族達や無限の時空へ想いを誘う作品です。



「ヒエログリフ」(水と土の芸術祭2009) Photo by 中村脩



G 作品タイトル:「ヒエログリフ」 ※ 継続・再展示
会場:角田浜【MAP G】

場所:新潟市西蒲区角田浜1069付近

▼ 本リリースに関するお問合せ

取材依頼、画像貸し出し、何かご不明な点等ございましたらお気軽にお問合せくださいませ。

PR 担当 株式会社 Casokdo 五十嵐 洋 E-mail: igarashi@a-ms2.com

住所:〒141-0033 東京都品川区西品川1丁目6番4号

TEL: 03-5436-7636 携帯: 090-1761-1417 FAX: 03-5436-7637

新潟市 水と土の芸術祭 開催概要



開港都市にいがた 水と土の芸術祭2012

テーマ：転換点～地域と生命(いのち)の再生に向けて

会 期：**7 / 14 sat** — **12 / 24 mon**

会 場：万代島旧水揚場(メイン会場)、旧齋藤家別邸、信濃川やすらぎ堤、ほか市内各地。

開催プロジェクト：水と土の芸術祭は3つのテーマを軸とし、感性、記憶、言葉。それぞれの側面でテーマを捉えます。

- 1.アートプロジェクト：約65の作品展示、参加型プロジェクト、パフォーマンス、ほか
- 2.市民プロジェクト：・市民プロジェクト(まち歩き、伝統芸能、おもてなし等、市民が企画・実施するプロジェクト)
・こどもプロジェクト(アートワークショップ、鑑賞活動など)
- 3.シンポジウム：「自然との共生」をテーマにしたシンポジウムと楽しく学べる「みずっち学校」

パスポート：前売り1,500円／当日2,000円 ※学生・シルバー割引あり。中学生以下無料

※詳細情報はこちらのHPをご覧ください。 <http://www.mizu-tsuchi.jp/passport/>

◎ 開催会場



▲ 外観

メイン会場は、新潟港に位置する万代島旧水揚場。全体設計は「みかんぐみ」を共同主宰する曾我部昌史さんが手掛けます。

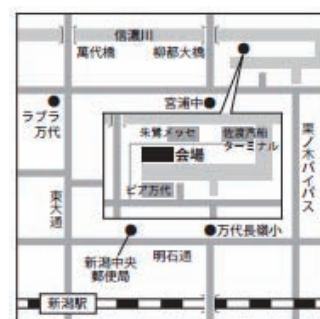
▼ アクセス

メイン会場

万代島旧水揚場

〒950-0078 新潟市中央区万代島4-1

- 新潟駅万代口から 1.7 Km
- 食の名物市場「ピアBandai」 徒歩8分
- 佐渡汽船ターミナル 徒歩10分
- 国際会議場「朱鷺メッセ」 徒歩2分
- 水上バスのりば 徒歩10分



▲ メイン会場：万代島旧水揚場



▲ 旧齋藤家別邸



▲ 信濃川やすらぎ堤

▼ 本リリースに関するお問合せ

取材依頼、画像貸し出し、何かで不明な点等ございましたらお気軽にお問合せくださいませ。

PR 担当 株式会社 Casokdo 五十嵐 洋 E-mail : igarashi@a-ms2.com

住所：〒141-0033 東京都品川区西品川1丁目6番4号

TEL : 03-5436-7636 携帯 : 090-1761-1417 FAX : 03-5436-7637

他にもある 2012～2013 年に日本で開催予定の芸術祭

東海地方：あいちトリエンナーレ2013

日時：2013年8月10日(土)～10月27日(日)

会場：愛知芸術文化センター / 名古屋市美術館 / 名古屋市内のまちなか(長者町地区、納屋橋地区など) / 岡崎市内のまちなか(地区は未定)

現代美術と舞台公演メインとした国際芸術祭。名古屋の街を中心にアート展示と各種パフォーマンスやイベントがくり広げられる。

<http://aichitriennale.jp/>



北陸地方：大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2012

日時：2012年7月29日(日)―9月17日(月・祝)

会場：越後妻有地域(新潟県十日町市、津南町)

越後妻有地域の里山を舞台に3年に1度開催される世界最大の国際芸術祭。地域に内在するさまざまな価値をアートを通じて掘り起こし、その魅力を高め、世界に発信し、地域再生の道筋を築いていくことを目指す。

<http://www.echigo-tsumari.jp/>



関西地方：六甲ミーツ・アート 芸術散歩2012

日時：2012年9月15日～2012年11月25日

会場：六甲ガーデンテラス、自然体感展望台 六甲枝垂れ/六甲山カンツリーハウス、六甲高山植物園/六甲オルゴールミュージアム/六甲山ホテル/六甲ケーブル/六甲ヒルトップギャラリー

神戸の街並みや港、豊かな自然、歴史、文化、六甲山上施設などの特色を採り入れた作品を展示し、六甲山の魅力を改めて感じてもらう展覧会です。

<http://www.rokkosan.com/rokkomeetsart2012/>



中国地方：瀬戸内国際芸術祭2013

日時：春：3月20日(春分の日)―4月21日(日)/夏：7月20日(土)―9月1日(日)/秋：10月5日(土)―11月4日(月・休)

会場：高松港周辺、直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島、宇野港周辺、中西讃の島々(沙弥島・本島・粟島・伊吹島)ほか

瀬戸内海の島々を舞台に開催する現代アートの祭典。美しく穏やかな瀬戸内海と、懐かしさを覚える島独特の風景の中で心に語りかけてくる作品の数々が訪れた人々の心を解放し、母なる海に抱かれた地域と人との縁を結びつけていく。 <http://setouchi-artfest.jp/>



九州地方：別府現代芸術フェスティバル

日時：2012年10月6日(土)―12月2日(日)

会場：大分県別府市内各所

世界有数の温泉地として知られる大分県別府市を拠点とし、アートが持つ可能性の社会化へ向け、国際芸術フェスティバルを開催。

<http://www.mixedbathingworld.com/>



混浴温泉世界
2012

別府現代芸術フェスティバル2012

▼ 本リリースに関するお問合せ

取材依頼、画像貸し出し、何かで不明な点等ございましたらお気軽にお問合せくださいませ。

PR 担当 株式会社 Casokdo 五十嵐 洋 E-mail: igarashi@a-ms2.com

住所：〒141-0033 東京都品川区西品川1丁目6番4号

TEL: 03-5436-7636 携帯: 090-1761-1417 FAX: 03-5436-7637